

平成27年第2回 総合教育会議 会議録

1 日時 平成27年8月20日(木) 午後3時36分から午後4時15分まで

2 場所 碧南市役所4階 庁議室

3 出席者

(1) 碧南市長

(2) 教育委員会

委員 杉浦 敏機、委員 杉浦 健次、委員 加藤 讓、委員 高橋世利子、
教育長 高松 透

(3) 事務局職員

総務部長 中山 修、教育部長 鈴木重幸、経営企画課長 岡崎康浩、経営企画課主
幹 三島 翁、経営企画課政策推進係長 本多 真、経営企画課政策推進担当係長
鈴木好美

(4) 関係職員

福祉こども部長 奥谷直人、こども課長 山田昌宏、学校教育課長 川隅義孝、生涯
学習課長 神谷弘子、文化創造課長 村松幸雄、文化財課長 杉浦智彦、スポーツ課
長 中根雄介、水族館科学館長 増田元保、

4 傍聴者 3人

5 議題

(1) 碧南市教育大綱(案)について

市長あいさつ

(市長)

こんにちは。第二回総合教育会議を開催させていただきます。本日の議題は碧南市教育大綱(案)についてご協議を頂くということで、先回の会議で、この大綱につきましては第5次総合計画に記載されている内容を修正する形で策定していくという方針を確認させていただきました。今回は事務局等で修正を加え、案をつくってまいりましたので、ご審議いただきますようお願いいたします。

(総務部長)

それでは、これからの議事の進行は今回の招集者であります市長にお願いいたします。

(市長)

では、まず議題ということで(1)碧南市教育大綱(案)について、事務局より説明をお願いします。

議題(1)碧南市教育大綱(案)について

経営企画課主幹が資料1に基づき説明した。

<意見・質疑>

(市長)

説明が終わりました。みなさん、なにか今の説明につきまして、ご意見等あればお願いします。

(杉浦健次委員)

5ページの下に「教育の研修のため、総合教育センターの設置」とありますが、5年前の総合計画の中でも文章に載っていますが、具体的になにか進められているのかお聞きしたいです。もう1点ですが、6ページの④の下「災害時にも、安定した給食の提供ができる体制づくりに努めます」とこちらも同様にありますが、具体的に進められているか、この2点についてお聞きしたいです。

(庶務課長)

5ページの総合教育センターの設置の検討につきましては、現状、先生たちの研修や会議等につきましては市役所の会議室や文化会館の部屋を使ってみえる状況です。場合によっては部屋の確保が難しいことを聞いております。そういった中で記載にもございますが、その他に教育相談室やフリースクールを一体化したほうが、体制が適切に進められるという意見をうかがっている中で、こういったセンターを検討していきたいということです。現状、施設という大きなハード面ですので、どの場所に施設を置くなど具体的なことはまだ検討されていません。ただ今後、市全体の公共施設のあり方が検討されていきますので、

その中で、教育センターの設置について検討していけたらと考えているところです。

また、次の6ページの「災害時にも、安定した給食の提供ができる体制づくりに努めます」とありますけども、現状給食センターの中で、調理をする釜があるのですが、災害時に対応するために1つだけガス釜になっており、燃料源を別にできるようにしております。災害時に、給食を提供できるように備えています。例えば、他の市ですが、新しく給食センターができますと、いろんな熱源を元にした調理器具、あるいは備蓄が検討されてきている状況でありますので、碧南市においても、いろんな熱源による調理方法ですとか、備蓄の部分を検討していければよいというのが現状です。

(市長)

杉浦健次委員、よろしいでしょうか。

(杉浦健次委員)

はい。

(市長)

他にご意見、ご質問ありますでしょうか。

(加藤讓委員)

まず3ページの③幼児教育が2回使われておりますが、文章の中にも「幼・保・小の連携を強化し、就学前教育のカリキュラム充実」という表現がされています。この文章全体が幼稚園、保育園を1つに考えているのか、幼稚園を指しているのか、保育園を指しているのか、やや曖昧なように感じます。これは市民が関心ある部分でありますので、私の考えとしては、幼稚園、保育園をはっきり説明をすべきではないかと思うわけですが、この辺りどうなっているのでしょうか。

(こども課長)

現在、碧南市では、幼稚園5園、保育園5園、私立保育園が9園あります。平成27年4月から子ども・子育て支援新制度として法律ができて、認定こども園も視野に入れた一体化の中で新たに制度ができています。本市の子ども・子育て支援計画は幼稚園・

保育園を含めて考えていますが、待機児童もないので認定こども園については支援計画の中に盛り込まれていません。社会的な必要に応じて政策を考えていきたいということで、幼稚園・保育園を含めてこの大綱では考えております。

(加藤讓委員)

認定子ども園という言葉が出てきたのは驚きました。これに関しては、碧南市では0だと思います。この文章内容を見てみると、就学前教育が充実しているとはとても思えません。幼稚園を平成21年に教育委員会から移し、こども課で補助執行が行われているが、現場は戸惑っています。就学前教育をしっかりとやるならば、幼稚園はこうあるべき、保育園はこうあるべきと分かりやすい表現をしてもらいたいと思います。こども課を新設して碧南らしい行政がはじまったと思ったけれど全然進歩していない。将来に向けての(大綱)策定の中でも就学前教育が何をしようとしているのか分からない。碧南市の幼児教育という言葉も幼・保の両方または、別々で言っているのか、これを親はどう考えているのか、市はどう位置付けるべきなのか、そういうものができていないと意味がないと思います。幼と保では区別があるので、改めて論じる必要があるのではないのでしょうか。この文章だけでは不十分だと見られますがいかがでしょうか。

(福祉こども部長)

ご意見ありがとうございます。今回この大綱を定めるにあたり、今ご指摘があった部分ですが、まず、今の第5次総合計画の内容を前提とし、昨年策定した「子ども・子育て支援計画」を加えました。今、ご指摘の3ページの部分の①の内容については、幼稚園の教育をどう考えるかということですので、こちらについては、従前の考えを周到しております。

②の部分につきましては、ここは新たな「子ども・子育て支援事業計画」を作りましたので、幼保連携の中で特に幼稚園の子育て支援の機能の充実を図っていくことを言及しております。膨らまして表現をさせていただいた部分が幼稚園全体の預かり保育の実施でございます。

③の部分につきましては、「碧南市子ども・子育て支援事業計画」に基づいた中で、全体の幼保含めた就学前教育を子どもの居場所、幼児教育を小学校と連携し、幼児教育の資質向上を行い小学校教育へ円滑移行するという表現を用いました。この先5年間、今の総合

計画を、新しい「子ども・子育て支援事業計画」を踏まえた中で方向性をもっていきたいということであります。

(加藤讓委員)

それですと、太枠の言葉を修正するべきでないといけないのでないでしょうか。

(福祉こども部長)

柱立てに関しては、今のままで良いと思いますので、文章の表現の内容を新しいしくみに合わせた言葉へとさせていただいています。

(加藤讓委員)

文章をもっと分かりやすい表現にすべきではないのでしょうか。他の市ではあまり例の見ないこども課を新設していますが、幼稚園側が戸惑っている中で、方向性を決めるのは良いが、もう少し形を変えて分かりやすくすべきではないのでしょうか。保護者がなにを考えているか、そこを第一に考え、どれが正しいのか、幼児教育とは何が正しいのか、分かりやすい言葉、文章にあげながら方向性を示してあげないと他からは見えてこないと思います。

(福祉こども部長)

現状、2つの幼保の機能を連携させながら進めていきたいが、この文章の表現は見えてこないということですね。

(加藤讓委員)

私の考えは以上で、もう少し考えられる余地があるなら考え直して欲しいと思っております。

(市長)

この点につきまして、他の教育委員のみなさんはいかがでしょう。

(杉浦敏機委員)

私も、もう少し具体的にこうした方が良いと書いて欲しいです。もう1点、5ページの③いじめ方針について、もう少し肉付けして分かりやすく表記して欲しいです。

(庶務課長)

いじめ方針につきましては、市議会への報告の日程もありますので、関係部署と協力し貴重な意見として修正していきます。

(福祉こども部長)

今までご意見があった中で、市としての対応、こども課での対応、幼児の環境、それらの表現を事務局を通して可能な限り、分かりやすい表現へと変えていけたらと思っております。よろしくをお願いします。

(市長)

他にご意見等ありますでしょうか。

(教育長)

この大綱につきまして、市の総合計画を基に作るという方針でやっていますので、教育委員会は毎年教育方針を提出しているわけですが、年によって教育の方向性は大きく変わらないと思います。これからも来年もこの大綱でいくなれば、大きな方向性は変わらないのでこれで良いと思います。

要望ですが、この大綱は総合計画の1つですので、まだ実施されていないところもたくさんありますので、市長と協力しながら1つ1つやっていけるようお願いしたいです。

(市長)

他にご意見等ありますでしょうか。

<意見・質疑なし>

(市長)

では、その他ご意見等ないということで、先ほどご指摘があったものにつきましては検討させていただきたいと思います。

では、以上をもちまして、平成27年度第2回碧南市総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。